

私大図協・東・2006-9

2006年5月1日

私立大学図書館協会
東地区部会
加盟図書館長殿

私立大学図書館協会
東地区部会長校
駒澤大学図書館
館長松村 格
[公印省略]

館長会のご案内

昨年度に引き続き、部会総会後の「昼食会を兼ねた館長会」を下記のとおり開催いたします。図書館の運営責任者である館長として、図書館運営のあり方、考え方等について活発な意見交換を行いたいと思います。公務多忙なおりに恐縮ですが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

日 時： 2006年6月9日(金) 12:00～13:30

会 場： 鶴見大学会館3階 第2会議室

議 題： 図書予算の在り方について

提 言： 大学経営が厳しさを増すなか、大学予算の見直しは必然のことであり、図書予算もまた例外ではない。しかしながら、大学の教育・研究の中心である図書館を充実するためには図書予算の削減には慎重でなければならない。少子化傾向のなか、少人数教育の充実によって大学の実質的維持と向上を図るためには、大学予算全体に占める図書予算の比率の妥当性・合理性が求められる。そして特に、利用者サービスの向上が求められるなかにおいて、図書予算をどのように有効に執行し、また、収書方針が生かされるように執行するかが、今後益々重要な問題となるように思われる。図書館内部における機能分化に対応した適正な各部係の合理的な予算配分も検討されなければならない。各大学図書館の状況を踏まえ、望ましい図書予算の有り方について忌憚のない意見交換が出来ればと考えている。

以上